

この研修は、きょうと福祉人材育成認証制度の支援メニューです。

現場で活かせる技術セミナー



初任者
中堅職員
向け

福祉職場における ケース記録の書き方 セミナー

～事実と判断を区別した書き方・使い方～

内容

福祉施設において、ケース記録は、職員間で情報を共有して統一した支援を提供するため、またリスクマネジメントやクレーム対応の観点からも大変重要で不可欠です。本セミナーでは、ケース記録の目的や意義を理解するとともに、事実と自身の判断を使い分けた書き方、記録作成のポイントや活用方法を学び、日常業務の円滑な遂行やサービスの質の向上につなげることを目指します。

日程

Iコース：6月15日(月) / ハートピア京都

IIコース：9月7日(月) / ハートピア京都

時間

各日 9:50～16:00

受講対象

社会福祉施設職員・市町村社会福祉協議会職員

申込締切

令和7年5月7日(木) 17:00まで

申込方法

詳しくは府社協HPから「募集中の研修」または、右記QRコードよりご覧ください。



府社協会員

5,000円(税込)

(受講者1名につき、資料代込み)

非会員・賛助会員

10,000円(税込)

(受講者1名につき、資料代込み)

※この研修は課税対象研修です。
※受講決定通知の発送をもってインボイス適格請求書といたしております。
※すべての研修で領収書の発行は行っておりません。

セミナー講師



岡本匡弘氏

京都保育福祉専門学院
副学院長

社会福祉法人京都府社会福祉協議会京都府福祉人材・研修センター 研修課(担当:岡村)

TEL: 075-252-6296

MAIL: kenshu@kyoshakyo.or.jp